

## ②熱塩村のおこり

平安時代のはじめごろ（西暦800年ごろ），空海というお坊さんが五峯山慈眼寺を建立したといので，慈眼寺村とよばれたそうです。その後，会津山領岩崎の莊山入村ともよばれたと言います。永和元年（西暦1375年），越後の国（新潟県）萩村の人でえらいお坊さんだった源翁禪師が護法山示現寺を開き，神様のおつげをえて熱湯（温泉）をわき出させてから，熱塩村になったと伝えられています。



元現寺

明治8年水沢村，日中村と合わせて三和村になりましたが，明治10年に黒川村も合わせて熱塩村になりました。さらに，明治22年に山田，相田村と合併してもとの熱塩村ができたのです。

## ③加納村のおこり

五目，根岸，下谷地，鷺田，赤崎，半在家，岩尾，中川原，百木田中，上野，針生，二本木原といった地名の村々が，元加納莊百木郷に

入っていました。この中の五目村は，江戸時代の終わりごろには五目組の中心地であったようです。明治8年に各村が合併して加納村，宮川村，米岡村の三ヶ村となり，明治22年には合併して加納村となりました。



加納地区の集落